

DIK-611A-F2
USB対応専用読取り器

DIK-611A-G2
USB対応DDC通信ケーブル

Vol.3.0

INSTALLATION MANUAL



ダイキ
大起理化工業株式会社

本社・工場

〒365-0001 埼玉県鴻巣市赤城台212-8
TEL 048-568-2500 FAX 048-568-2505

西日本営業所

〒520-0801 滋賀県大津市におの浜 2-1-21
TEL 077-510-8550 FAX 077-510-8555



ホームページ <http://www.daiki.co.jp/>
E-mail mbox@daiki.co.jp

目次

1.はじめに	2
2.推奨ハードウェアおよびOS	3
3.梱包内容	3
4.各部の名称	3
5.取り付け位置	4
6.セットアップ	5
Diver-Office を使用する場合	5
Logger Data Manager を使用する場合	5
7.ドライバのインストール	6
Diver-Office を使用する場合	6
Logger Data Manager を使用する場合	7
8.接続とCOMポート番号の確認	14
9.ドライバのアンインストール	14

1. はじめに

この度は「DIK-611A-F2 USB 対応専用読取り器」、「DIK-611A-G2 USB 対応 DDC 通信ケーブル」をご購入頂きまして誠にありがとうございます。

本器をご使用になる前に、「2.推奨ハードウェアおよび OS」を良く確認してからセットアップを行うようにしてください。

「DIK-611A-F2 USB 対応専用読取り器」、「DIK-611A-G2 USB 対応 DDC 通信ケーブル(要 DDC ケーブル)」は、1台でミニダイバー、マイクロダイバー、セラダイバー、DIK-603C CTD ダイバー水位計の他に、DIK-603B CTD ダイバー水位計、DIK-610A ダイバー水位計とそれ以前の各ダイバー水位計、DIK-360B 土壌水分・EC・温度計との通信を行うことができます。

各ダイバー水位計の種類により、本器との接続箇所が異なりますので、「5.取り付け位置」を参照にして取り付けを行ってください。

※ 注意事項 ※

- 「DIK-611A-F2 USB 対応専用読取り器」には接続部が2箇所ありますが、両方の接続箇所にダイバーを同時に接続することはできません。無理に2本のダイバーを同時に接続しようとすると、本器またはダイバー本体の破損の原因となりますので、絶対に行わないようにしてください。
- 本器を使用して旧ダイバー水位計用ソフト「EnviroMon」を利用することは可能です。但し「EnviroMon」では、ミニダイバー、マイクロダイバー、セラダイバー、CTD ダイバー水位計との通信を行うことは出来ませんのでご注意ください。ミニダイバー、マイクロダイバー、セラダイバー、DIK-603B CTD ダイバー水位計を使用する場合には、Diver-Office または Logger Data Manager 5.0 以降、DIK-603C CTD ダイバー水位計は Diver-Office 2010 以降が必要です。
- Diver-Office は DIK-360B 土壌水分・EC・温度計には対応していません。DIK-360B 土壌水分・EC・温度計をご使用になる場合は、Logger Data Manager をご利用ください。

2. 推奨ハードウェアおよびOS

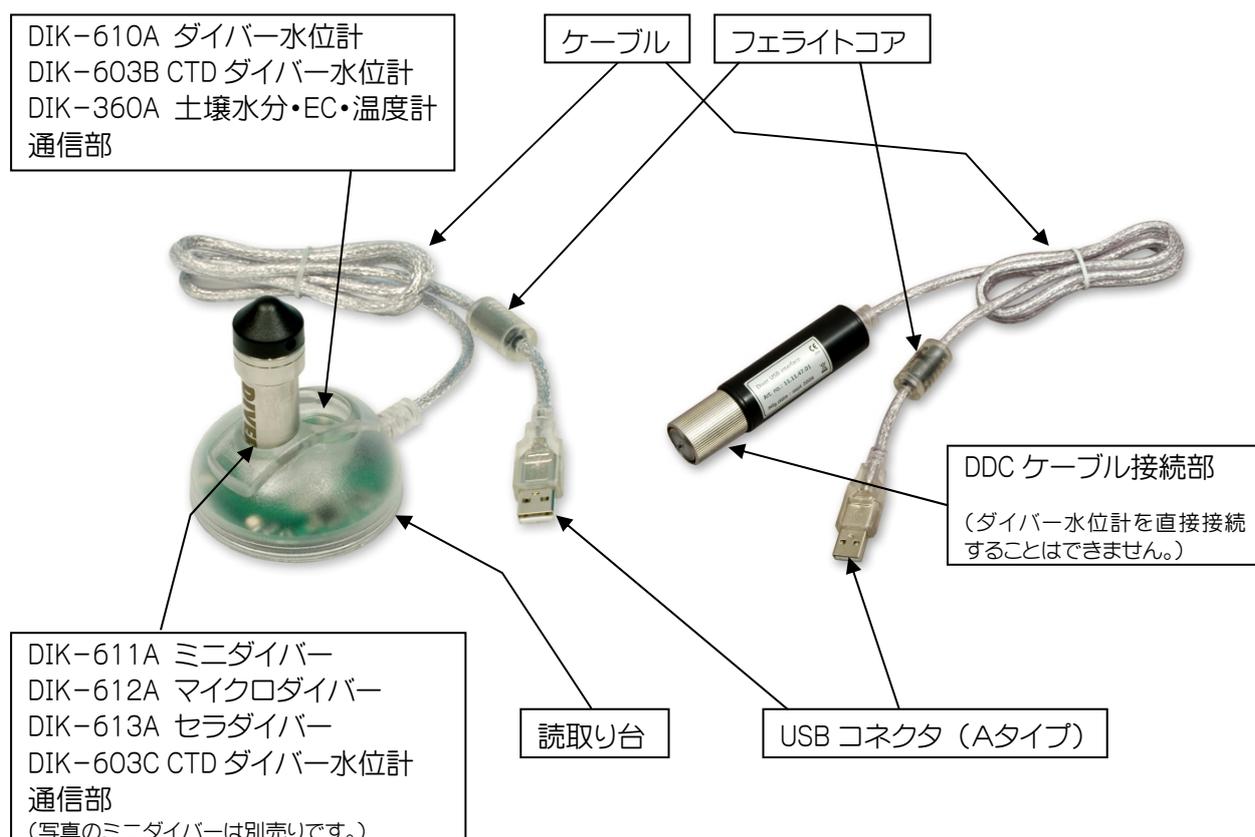
- USBポートを有するWindowsが動作するパソコン
- 対応OS：Windows 2000, Windows XP, Windows Vista, Windows 7
(Windows 98、Windows Meには対応していません。)

3. 梱包内容

パッケージに以下の付属品が含まれていることを確認してください。

- USB対応専用読取り器、またはUSB対応DRC通信ケーブル
- CD-ROM (ソフトウェア、ドライバ)
- INSTALLATION MANUAL (本書)

4. 各部の名称



5. 取り付け位置

各ダイバーを USB 対応専用読み取り器に取り付ける場合は、下図のようになります。



取り付け向きは
ありません。

DIK-611A ミニダイバー
DIK-612A マイクロダイバー
DIK-613A セラダイバー



取り付け向きが
あります。
(ピン位置を合
わせる)

DIK-603B CTD ダイバー水位計
DIK-360B 土壌水分・EC・温度計
DIK-610A ダイバー水位計
その他の旧ダイバー水位計

6. セットアップ

USB 対応専用読取り器、USB 対応 DDC 通信ケーブルをパソコンに取り付けるためには、ドライバのインストールが必要になります。ドライバのインストール方法は、ご使用になるソフトウェアによって異なります。

Diver-Office を使用する場合 … P.6 へ

対応製品

- DIK-611A ミニダイバー
- DIK-612A マイクロダイバー
- DIK-613A セラダイバー
- DIK-603C CTD ダイバー水位計
- (その他、旧ダイバー水位計も含まれます。)

Diver-Office を利用する場合、USB 対応専用読取り器、USB 対応 DDC 通信ケーブルの各ドライバは、Diver-Office をインストールする際にパソコン内にインストールされますので、USB 対応専用読取り器、USB 対応 DDC 通信ケーブルをパソコンに取り付ける前に、Diver-Office のインストールを行います。

Logger Data Manager を使用する場合 … P.7 へ

対応製品

- DIK-360B 土壌水分・EC・温度計
- DIK-614A Water-L 水位計

Logger Data Manager のみを利用する場合には、USB 対応専用読取り器、USB 対応 DDC 通信ケーブルをパソコンに取り付ける際、ドライバのインストールが必要になります。

※※ ご注意! ※※

旧製品の「DIK-610A-C1 USB 対応専用読取り器」、「DIK-600A-D2 USB 対応 DDC 通信ケーブル」を使用していたパソコンに本器を接続する場合には、必ず「7.旧製品ドライバのアンインストール」を参照に、旧製品のドライバをアンインストールしてからセットアップを行うようにしてください。
(共存は可能ですが、お勧めできません。また「7.旧製品ドライバのアンインストール」を参照にドライバのアンインストールを行った場合、すべてのドライバが削除されます。)

※※ 参考 ※※

セットアップを行うパソコンに CD-ROM ドライブがない場合には、付属 CD-ROM 内のファイルをハードディスクやリムーバブルドライブ、メモリーカード等にコピーをしておき、CD-ROM がなくてもソフトウェアのインストールができる環境を整えてからセットアップを行うようにしてください。

7. ドライバのインストール

Diver-Office を使用する場合

1. Diver-Office を利用する場合には、Diver-Office の取扱説明書を参照し、Diver-Office のインストールを行います。
Diver-Office をインストールすると、同時に USB 対応専用読取り器と USB 対応 DDC 通信ケーブルのドライバがインストールされます。
2. Diver-Office のインストールが完了したら、パソコンの USB ポートに専用読取り器または DDC 通信ケーブルを取り付けます。
3. 自動的にドライバがインストールされ、「ハードウェアの使用準備ができました」とのメッセージが表示されたら、USB 対応専用読取り器または DDC 通信ケーブルのセットアップは完了です。

Logger Data Manager を使用する場合Windows XP へのインストール

1. 付属の CD-ROM をインストールするパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
オートラン機能によりメニュー画面が表示されますので、**【終了】**ボタンをクリックしてメニュー画面を閉じてください。

※ パソコンに CD-ROM ドライブがない場合は、あらかじめ CD-ROM 内のファイルをハードディスク上にコピーしておくか、メモリーデバイス等にコピーしてインストールを行ってください。

2. USB 対応専用読取り器または USB 対応 DDC 通信ケーブルの USB コネクタを、パソコンの USB ポートに接続します。

Windows XP SP2 を使用している場合は、図1のウィンドウが表示されますので、「いいえ、今回は接続しません」にチェックを入れて**【次へ】**をクリックします。

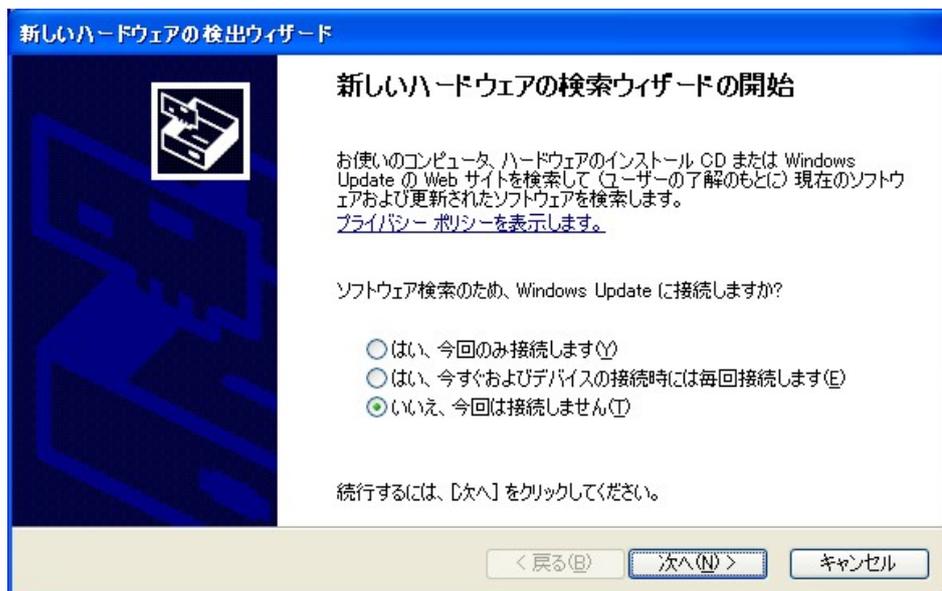


図1

3. 図2のウィンドウが表示されますので、「ソフトウェアを自動的にインストールする」にチェックが入っているのを確認して、[次へ]をクリックします。

※ DDC 通信ケーブルの場合は「Diver USB Interface Cable」と表示されます。

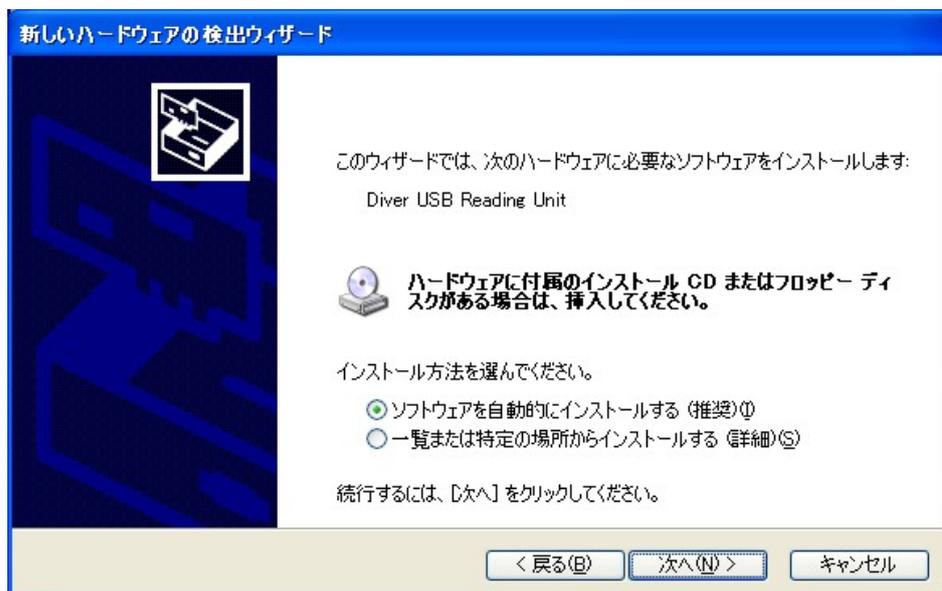


図2

4. ドライバの検索が開始され、USB 対応専用読取り器または USB 対応 DDC 通信ケーブルのドライバが検出されると図3のウィンドウが表示されますので[続行]をクリックします。

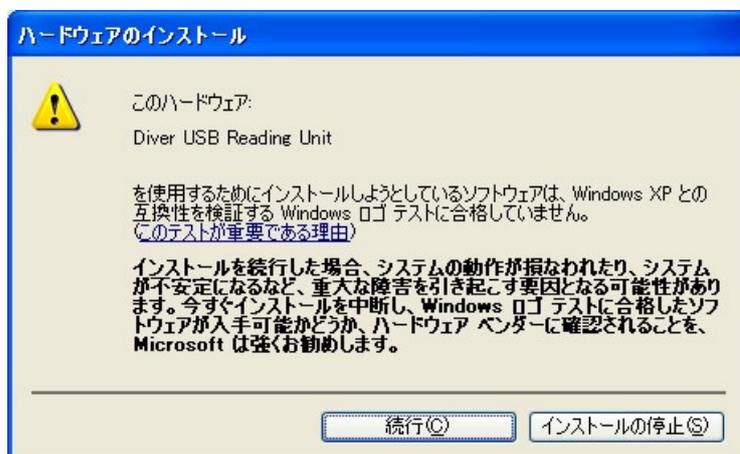


図3

5. ドライバのインストールが完了すると図4のウィンドウが表示されますので、[完了]をクリックしてウィンドウを閉じます。

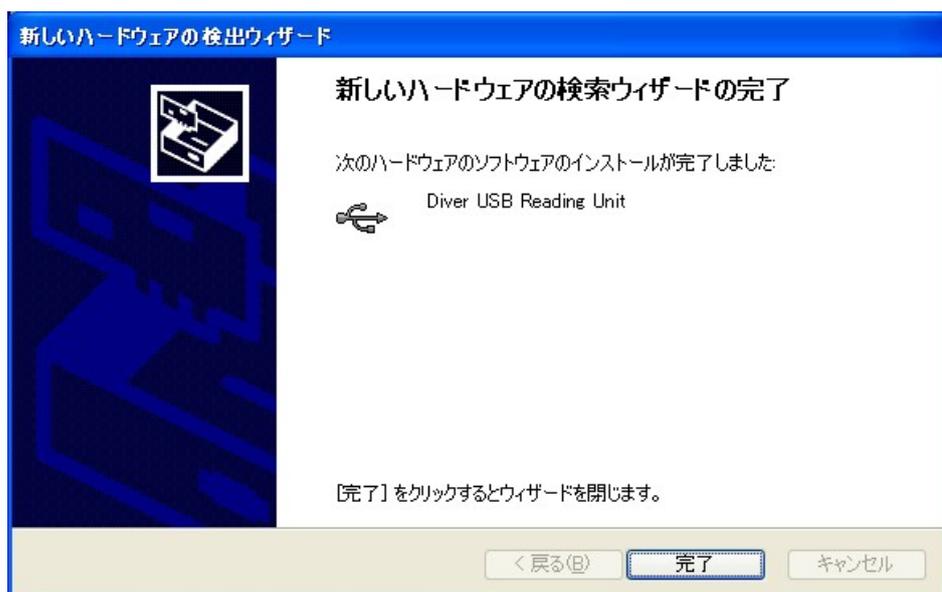


図4

6. 続けてシリアルポートのインストールが開始されます。
前段階と同様に Windows XP SP2 を使用している場合は、図5のウィンドウが表示されますので、「いいえ、今回は接続しません」にチェックを入れて[次へ]をクリックします。

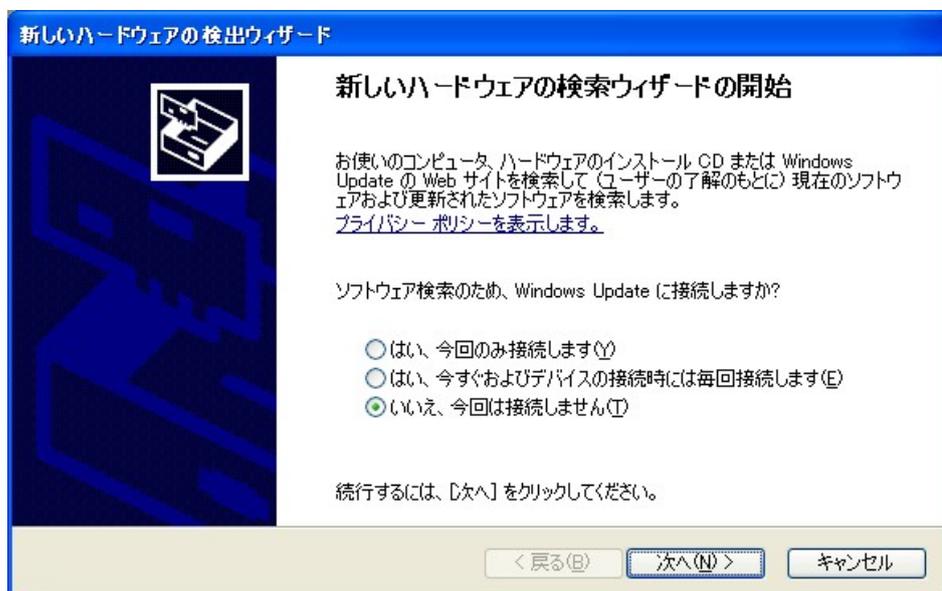


図5

7. 図6のウィンドウが表示されますので、「ソフトウェアを自動的にインストールする」にチェックが入っているのを確認して、[次へ]をクリックします。

※ DDC 通信ケーブルの場合は「Diver USB Interface Cable」と表示されます。

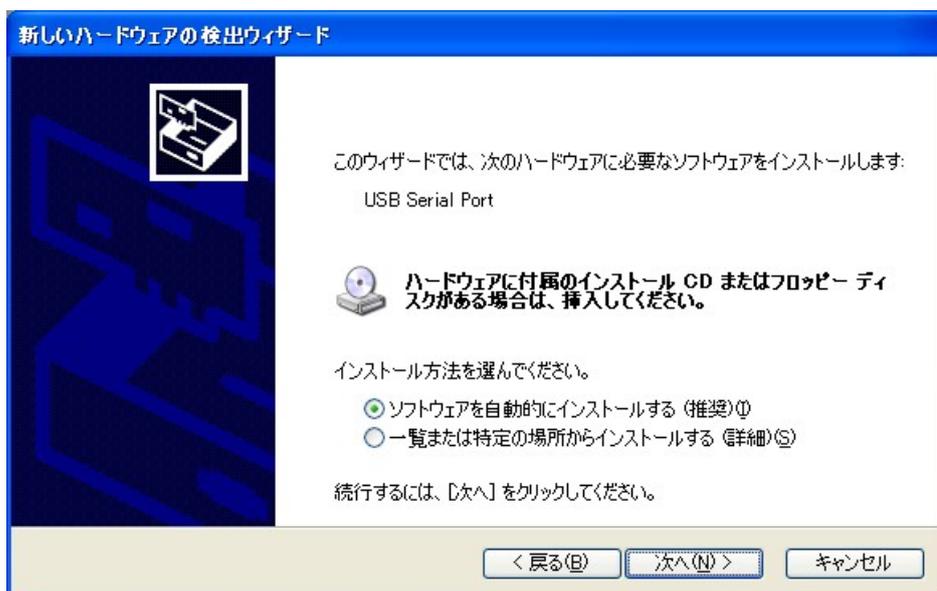


図6

8. ドライバの検索が開始され、ドライバが検出されると図7のウィンドウが表示されますので、[続行]をクリックします。

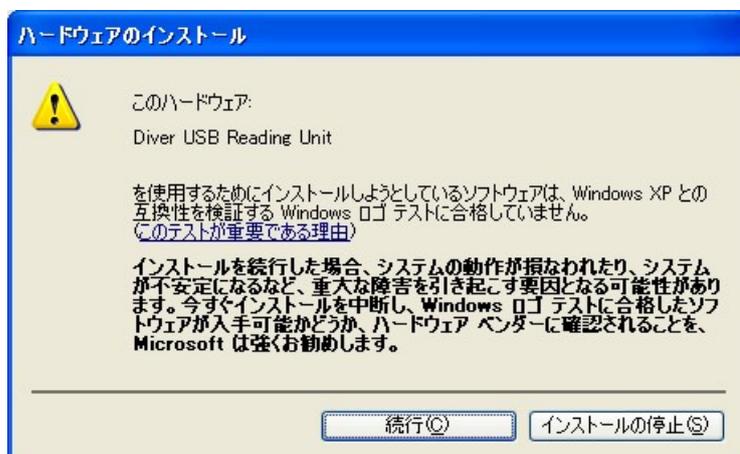


図7

9. ドライバのインストールが完了すると図8のウィンドウが表示されますので、**[完了]**をクリックしてウィンドウを閉じます。以上でドライバのインストールは完了です。



図8

8. 接続とCOMポート番号の確認

1. USB 対応専用読取り器または USB 対応 DDC 通信ケーブルが正常にインストールされているかと、COM ポート番号の確認を行います。

「コントロールパネル」を開き、「システム」より「デバイス マネージャ」を開きます。

「ポート(COMとLPT)」の  をクリックして、「Diver USB Reading Unit (COM*)」と表示されていれば、USB 対応専用読取り器は正常にインストールされています。

※ DDC 通信ケーブルの場合は「Diver USB Interface Cable」と表示されます。

「COM*」の*の部分の数字がCOMポート番号になります。この COM ポート番号は、使用しているパソコンの環境によって変化します。(図9の図例では「COM7」です。)

この番号がダイバー水位計用ソフトウェアを使用する際に設定する番号となります。

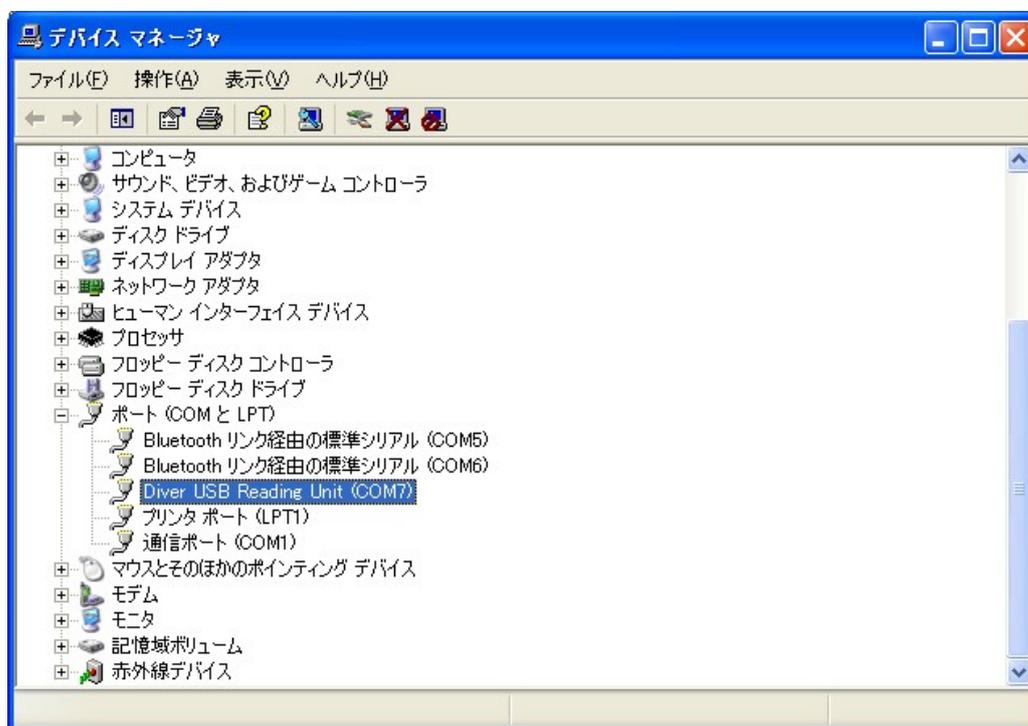


図9

2. COM ポート番号を変更する必要がある場合には、次のように設定を変更します。

使用するダイバー水位計用ソフトウェアが「EnviroMon」の場合は COM1～8まで設定することが可能です。「Logger Data Manager」の場合は、使用されているポート番号のみが設定可能となるため、通常 COM ポート番号を変更する必要はありません。

「デバイスマネージャ」の「ポート」で「Diver USB Reading Unit」または「Diver USB Interface Cable」を選択して、マウスの右側のボタンをクリックして、「プロパティ」を選択します。

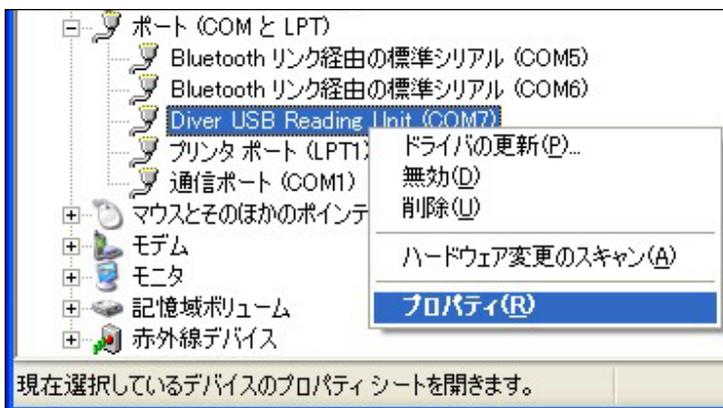


図10

「Diver USB Reading Unit (COM*)のプロパティ」ウィンドウが開きますので、「Port Settings」タブをクリックして[Advanced..]ボタンをクリックすると「Advanced Settings for COM*」ウィンドウが開きます。

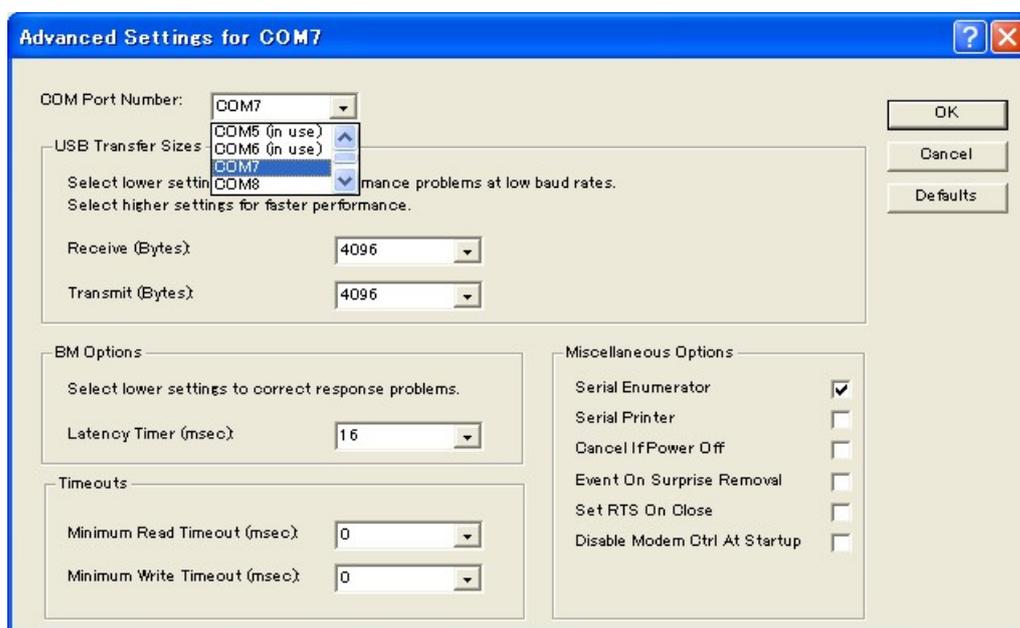


図11

「COM Port Number」の箇所で COM ポート番号を変更することができます。

ただし表示される COM 番号の後ろに「(in use)」となっている COM ポート番号は、すでに別の機器に予約されているため通常変更することはできません。

9. ドライバのアンインストール

ドライバのアンインストールを行う場合は、USB対応専用読取り器またはDDC通信ケーブルをパソコンから取り外した状態で行います。

Diver-Officeを使用していた場合

Diver-Officeを使用していた場合でドライバのアンインストールを行う場合は、「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」より、Diver-Officeソフトウェア自体のアンインストールを行ってください。

Logger Data Manager を使用していた場合

1. 「コントロールパネル」より「アプリケーションの追加と削除」をクリックします。
「プログラムの変更と削除」より「FTDI USB Serial Converter Drivers」をクリックして[変更と削除]ボタンをクリックします。



図12

2. 図13のウィンドウが開きますので[Continue]ボタンをクリックすると、ドライバのアンインストールを開始します。



図13

3. 図14のようなウィンドウが表示されたらドライバのアンインストールは完了です。**[Finish]**をクリックしてウィンドウを閉じます。

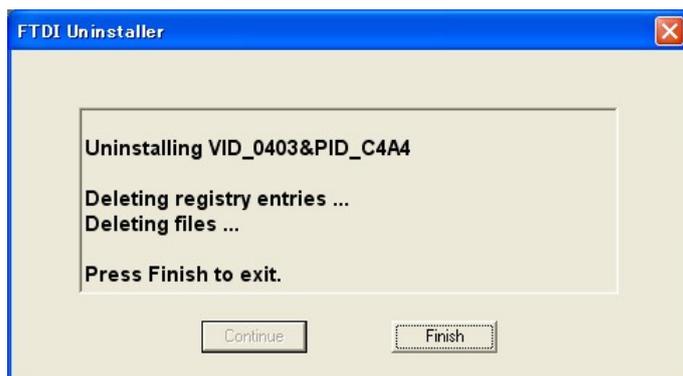


図14